

志す宇宙は無限 1月号

発行：楠隼高等学校 宇宙部

H3 初号機 打ち上げ予定日 決まる

宇宙航空研究開発機構（JAXA）は、H3ロケットの打ち上げを2月12日の打ち上げに向けて調整中であると発表した。H3ロケットはH2A、H2Bロケットに続く国産ロケットとして開発が進められている。11月にエンジンの燃焼実験をしており、良好な結果が得られている。世界的にも高い成功率を誇るH型ロケットの成功を期待している。

新コーナー

アルテミスの足跡

NASAは日本やヨーロッパも参加する国際的な月面探査計画「アルテミス計画」で2025年を目標に、アポロ計画以来となる宇宙飛行士による月面着陸を目指しています。このコーナーでは、11月から本格的にスタートした「アルテミス計画」の最新情報を掲載します。

11月に打ち上げられた「オリオン」は25日間の試験飛行を終え、日本時間の12月12日未明に地球に帰還した。時速約4万キロで大気圏に突入した後、パラシュートを使って速度を落としながら効果を続け、午前2時40分ごろ、太平洋上に着水した。着水後、オリオンは無事、船で回収された。

今回の試験飛行は、宇宙船が地球に帰還する際の高温に耐えられるかどうかや内部に載せた3体のマネキンを使って衝撃や放射線の影響を調べるのが主な目的である。NASAは取得したデータを詳しく分析し、次は宇宙船に宇宙飛行士を乗せた状態で月を周回する試験飛行を行う予定だ。

中国 宇宙ステーション 本格的運用開始へ

中国が建設を進めてきた独自の宇宙ステーションが2022年中にすでに完成し、今年から本格的な運用が始まる三藤氏であることが明らかになった。これは、中国の宇宙開発を担う国有企業のトップが、3日に開かれた会議で昨年の実績を報告した際、「宇宙ステーションが全面的に完成した」と述べたものだ。さらにこの会議では「ことは有人宇宙ステーションのプロジェクトが応用と発展の段階に入り、宇宙ステーションは通常の運用に移行する」との目標も示したというので、今年から本格的な運用が始まる予定であることが明らかになった。

宇宙日記

冬季帰省をした際にモデルロケットを飛ばしてみました。このロケットは「楠隼人」（楠隼HP）に取り上げられたときに画像として掲載されていたものです。この日は天気も良くロケットが青空に映えました。少し機体が傾いてしまい、高度が伸びず、パラシュートもうまく開かなかったです。機体の傾きに関しては重心に問題があると考えました。少し重心を上のほうに置くように改良してみたいと思います。



打上日時	2023. 1. 6 午後15時ごろ
打ち上げ場所	鹿児島県さつま町
使用エンジン	B 6-4
最高高度	約20メートル



やってみよう！ 身近な宇宙
今回は「月」についての豆知識を紹介したいと思います。

皆さんは「フラワームーン」や「ゴールドムーン」などの名前を聞いたことがあるでしょうか。

これは各月の満月の異名です。
一月から順に、「ウルフムーン（一月）」、「スノームーン（二月）」、「ワームムーン（三月）」、「ピンクムーン（四月）」、「フラワームーン（五月）」、「ストロベリームーン（六月）」、「バックムーン（七月）」、「スタージョンムーン（八月）」、「ハーベストムーン（九月）」、「ハンターズムーン（十月）」、「ビーバームーン（十一月）」、「ゴールドムーン（十二月）」となっています。

アメリカの先住民が季節を把握するために、各月に見られる満月に名前を付けていたそうです。例えば、イチゴの実る季節である6月は「ストロベリームーン」、トウモロコシ収穫の季節である9月は「ハーベストムーン」のように名前が付けられています。

一月は「冬に食糧不足で飢えた狼の遠吠え」にちなんでウルフムーンです。

満月の夜には、「〇〇ムーンが美しいな」。彼女のようにな」と思いながら句を詠んでみてはどうでしょうか。そのようなことをしていたら、モチますね。ぜひ挑戦してみてください。



宇宙からのささやき

昨日の夢は、今日の希望であり、明日の現実である。

ロバート・H・ゴダード

アメリカの発明家でロケット研究者。1926年に液体酸素とガソリンによる世界初の液体ロケットを打ち上げた。

あけましておめでとうございます！！

2023年も無事にスタートすることができました。宇宙部も今年こそは大会に参加できるように頑張ります。

今年も宇宙部をよろしくお願ひします

皆さんにとって、素敵な一年になりますように。

楠隼高等学校 宇宙部

高校宇宙部部长 米満恭平

宇宙の声
あけましておめでとうございます。
部長より新年のご挨拶をさせていただきます。

昨年は高校3年生が引退して以降部員が一名となり、どのような活動ができるのかとても心配していましたが、まずは、皆さんに「宇宙」という世界の楽しさに興味を持ってほしいと思い、壁新聞「志す宇宙は無限」の発行を始めました。校内の多くの場所に掲示させていただきました。短い時間でも足を止めて読んでいただき、とてもうれしかったです。

宇宙業界では、様々なイベントが多い一年になりました。やはり先月のアルテミス計画のスタートは一大イベントでした。肝付町から打ち上げられたイプシロンロケットは失敗してしまいましたが、さらなる進化へ期待しています。ほかにも、天文においては皆既月食と天王星食が同時に起きるダブル天体ショーが注目されました。

今年はどういう一年になるのでしょうか。卯年ということで、何事にも飛躍的に挑戦し、充実した一年にしていきたいです。私自身、今年こそは皆さんの部員とともに大会参加等を行い、全国で注目される部活動へと進化させていきたいと考えています。また、世界的にも注目されているアルテミス計画には本心に注目しています。今年も宇宙部、宇宙業界とともに進化していきます。皆さんも是非注目してください。

2023年も応援・協力をよろしくお願ひします。そして皆さんにとっても実りの多い一年になりますように。